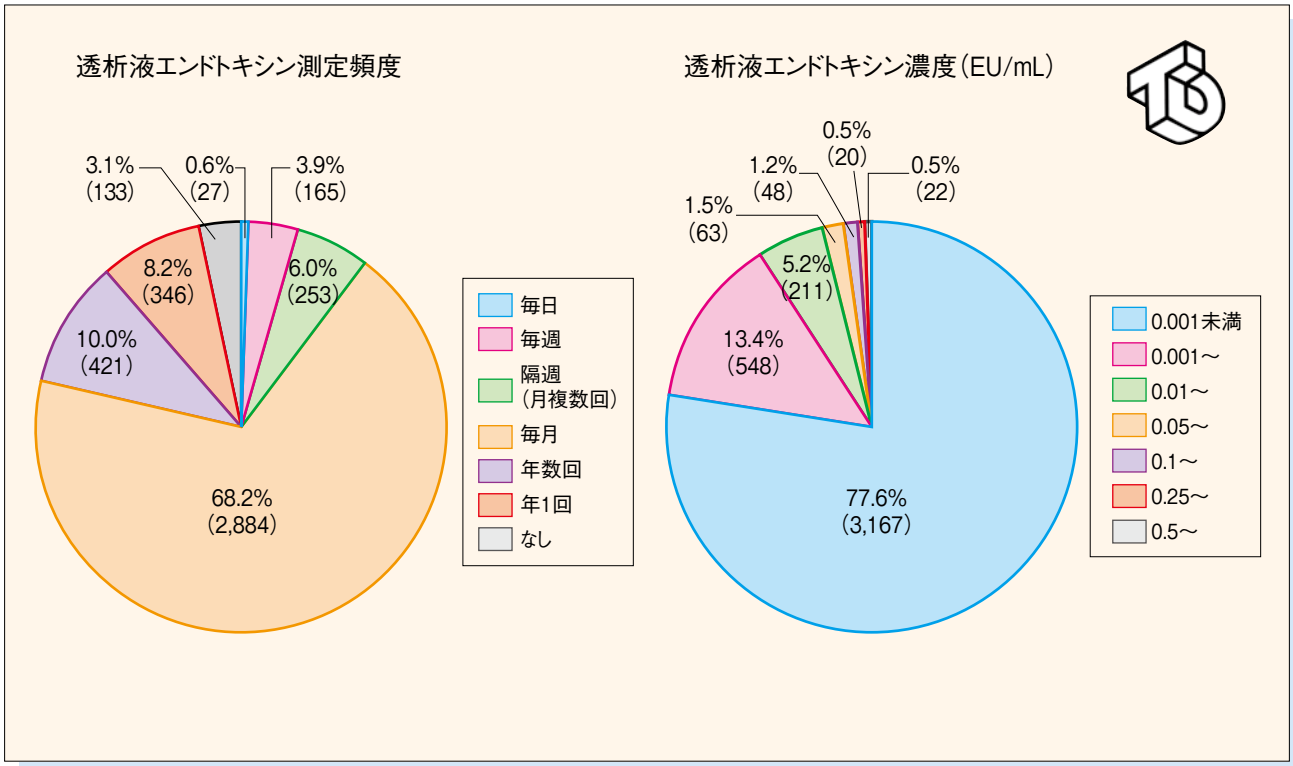
1）透析液水質管理状況

（1）透析液エンドトキシン検査（図表28）



透析液エンドトキシン測定頻度	毎日	毎週	隔週(月複数回)	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
施設数 (%)	27 (0.6)	165 (3.9)	253 (6.0)	2,884 (68.2)	421 (10.0)	346 (8.2)	133 (3.1)	4,229 (100.0)	69	6	4,304

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001～	0.01～	0.05～	0.1～	0.25～	0.5～	合計	不明	記載なし	総計
施設数 (%)	3,167 (77.6)	548 (13.4)	211 (5.2)	63 (1.5)	48 (1.2)	20 (0.5)	22 (0.5)	4,079 (100.0)	164	61	4,304

施設調査による集計

解説

ベッドサイドコンソールを1台以上有する4,304施設のうち、透析液エンドトキシン測定頻度は4,229施設（98.3%）、エンドトキシン濃度は4,079施設（94.8%）から不明以外の回答が得られた。

日本透析医学会の水質基準では、透析液エンドトキシン濃度は月1回以上の測定を推奨しているが、上記回答施設の78.7%の施設がこれに合致し、昨年の77.7%より若干増加した。

また、日本透析医学会の水質基準においてはすべての透析治療に超純粋透析液（ET 0.001EU/mL未満を担保）を推奨しており、標準透析液0.05EU/mL未満を必要最低限の水質としている。0.001EU/mL未満は77.6%の施設で達成、0.05EU/mL未満は96.2%で達成されており、これは昨年のそれぞれ73.9%、95.1%より改善されている。